令和８年度　第２回
川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会
議　事　要　旨

［日　　時］令和８年１０月７日（水）１３:３０～１５：００
［場　　所］川口市役所　第一本庁舎５階５０１大会議室
［出 席 者］
１　委　員
◎田中委員、〇宇田川委員、山森委員、大西委員、山下委員、近藤委員、鈴木委員、宮崎委員、吉田委員、片山委員、梅澤委員

２　事務局
鎌倉部長、蛯名次長、山路補佐、尾形補佐、小柳補佐、加賀補佐、佐野補佐、今井主査、仲田主任

［日　程］
１　開　　会
２　議　　題
（１）アンケート調査結果（速報値）・意見交換会の結果について
（２）次期計画の骨子案について
（３）地域生活実現プロジェクトについて
３　閉　　会

［配布資料］
・第２回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 次第
・資料１「川口市障害福祉に関するアンケート調査結果速報値」
・資料２「令和８年度 第１回 川口市障害者福祉計画等策定に伴う意見交換会 議事要旨」
・資料３「第８期川口市障害者自立支援福祉計画・第４期川口市障害児福祉計画 素案」
・資料４「地域生活実現プロジェクト」

[議事要旨]

１　開　会

事務局より開会が宣言された。

２　議　題

（１）アンケート調査結果（速報値）・意見交換会の結果について

【説明】

事務局より、資料１・２に基づき説明が行われた。

【質疑応答・意見】

（特になし）

（２）次期計画の素案について

【説明】

事務局より、資料３に基づき説明が行われた。

【質疑応答・意見】

（委　員）P47「①生活介護」の令和８年度（見込み）の数値が減少している理由は。

（事務局）直近（4 月・5 月）の実績値から算出した暫定値のためである。次回改めて数値を整理して提示する。

（委　員）過去の実績計算だけでなく、現場の肌感覚や不足しているサービス感を汲み取って計画に反映してほしい。

（委　員）P45「①居宅介護」のヘルパー確保について、行政としての考えはどうか。

（事務局）福祉人材の確保は重要課題と認識している。主に埼玉県が取り組む事項であり、市としても協力・連携していく。

（委　員）P46「③同行援護」の人数は、支給決定人数か。

（事務局）支給決定を行った上で、実際に利用実績（支払い）があった人数である。

（委　員）P57「④居宅訪問型児童発達支援」の実績値が 0 である理由は。

（事務局）市内に対応可能な事業所がないことと、現状他のサービスで対応できていることによる。

（委　員）アンケート調査結果「子ども」問 36 で、障害児のセルフプラン解消ニーズが高かったが、相談支援事業所の状況はどうか。

（事務局）成人と比較して対応事業所が少ない現状がある。セルフプラン解消に向け事業所に協力要請を行っており、今後も継続して取り組む。

（委　員）P46「重度障害者包括支援」の実績値が 0 である理由は。また、宿泊型自立訓練の実績値はどうか。

（事務局）重度障害者包括支援は、単体の重度訪問介護にシフトする利用者が多いためであり、市として申請を断っているわけではない。宿泊型自立訓練は確認中である。

（委　員）P49「⑥就労移行支援」、「⑦就労継続支援 A 型」、P50⑧「就労継続支援 B 型」等の就労支援の実績・見込み量に注目している。

（委　員）川口市自立支援協議会のむすぶ部会で扱う、ピアサポートの計画上の位置づけはどうか。

（事務局）精神障害者ピアサポート事業は現行計画にあるが、むすぶ部会で検討するピアサポート全般は現行計画に直接記載がない。今後の検討を踏まえ、次期計画等での位置づけを検討する。

（委　員）入所施設からグループホームへの移行だけでなく、地域生活の多様なあり方を議論すべきである。また、のぞまないセルフプランの件数をゼロにすること伴う、受け皿確保も不可欠である。

（事務局）相談支援事業所の質の向上と事業所の確保を並行して推進していく。

（３）地域生活実現プロジェクトについて

【説明】

事務局より、資料４に基づき説明が行われた。

【質疑応答・意見】

（委　員）高齢の保護者がいるケースでは早急な対応が必要と感じる。短期入所等を組み合わせることで家族の負担軽減につながる。

（事務局）プロジェクトにかかる数字を計画において明確化し、実現に向けて進めていく。

３　閉　会

事務局より、閉会が宣言された。

以　上